

中綴じの場合も無線綴じと同様にページ順の配置でご入稿下さい



世界に認められた

# Japan Protection Technology

安全と安心を全てのライダーに。

## HIT-AIR AIRBAG SYSTEM

### Shock Buffering Protection System 衝撃緩和保護システム

転倒や追突などによってライダーがバイクから《一定の距離》離れた瞬間にエアバッグが作動します。

バイクと体を繋いでいるワイヤーが引っ張られるとキーボックス(起動装置)からキーボール(作動ピン)が抜け、エアバッグが作動します。



走り出す前に  
ワンタッチコネクター  
を接合

接合音  
「かちっ!」



※ヒットエアイメージ図

### エアバッグ基本構造

hit-airエアバッグは、上衣として着用して下さい。



**キーボックス (起動装置)**  
炭酸ガスのカートリッジボンベを  
装備したエアバッグ起動装置

**キーボール (作動ピン)**  
キーボールが外れた瞬間にボンベ  
から炭酸ガスが注入され膨らみます

**伸縮ワイヤー**  
バイクの所定の位置に長さを  
調節して取付けます

**ワンタッチコネクター**  
乗車時と降車時、バイクに  
跨った状態で脱着します。

首・背中・胸・臀部などを保護し、人体への衝撃を緩和します。

内蔵されたエアバッグチューブ

エアバッグ首気室

エアバッグ胸気室

エアバッグ背中気室

エアバッグ脇気室

エアバッグ尻気室

※モデルによってエアバッグ構造が異なる場合があります。

### 降車時、ワンタッチコネクターを外し忘れて作動してしまうのでは?

簡単に作動しないよう、キーボールが抜けるには約30kgの張力を必要とします。通常であれば、作動することなくワンタッチコネクターの外し忘れに気付くことができます。

\*立ちゴケなどでも、約30kgの力が加わった場合は作動します。

### エアバッグが展開しても繰り返し使用できます。

ジャケットに損傷がなければ、CO2カートリッジボンベを交換して、繰り返し使用できます。

\*使用済みボンベ(底に穴の空いたもの)は使用できません。

\*エアバッグ製品にはマニュアル、再生用工具が付属されています。

### hit-airの安全性を検証

安全性を実証する確かなデータ

数々の試験により、hit-air装着時における衝撃の緩和を実証。

#### エアバッグジャケットに対する打撃試験 (JARI 2011年3月)



MC2

MLV

センサーを内蔵した人体模型にエアバッグジャケットを着用させ、インパクト(打撃計測機)で頸部の打撃試験を実施しました。本試験で得られた結果を米国法規であるFMVSS 208に定められた傷害値で評価し、本試験結果をみると傷害値を十分にクリアしている状況であったことがわかりました。

#### エアバッグジャケットの展開時間試験 (JARI 2011年3月)



エアバッグが展開するまでに要する時間は最も短いもので105msec(0.105秒)、最も長いものでは205msec(0.205秒)でした。(単位:msec/1000分の1秒)

#### エアバッグジャケットの性能・効果試験 (JARI 2008年10月)



エアバッグジャケット装着と非装着の人体模型を背面から落下させ、胴体への加速度の違いを測定しました。実験は人体模型を衝突台へ落下させ、落ちた衝撃を加速度センサーで測定、G値が小さいほど衝撃が緩和されます。

非装着 頭部27.4(G) 胴体97.1(G) ▶ hit-air装着 頭部11.9(G) 胴体23.8(G) 加速度の値をみると、非装着とhit-air装着では、頭部は半減、胴体は大幅に軽減され、大きな効果が実証されました。

### エアバッグ展開時間をスピードアップ



約0.2秒

### S-SYSTEM

Sシステムは2009年より導入開始

Sシステムは、キーボックス(エアバッグ起動装置)に改良を重ね、エアバッグ作動から膨張までの展開時間を短縮し、瞬時に展開します。

展開時間 **約0.1~0.2秒**

\*展開時間はモデル(エアバッグ構造)によって異なります。  
\*キーボックスのカラーや形状はモデルによって異なります。

### 世界に認められた技術と性能 "Japan Protection Technology" の安全と信頼を世界へ...

hit-airエアバッグシステムの安全性と信頼性が評価され、日本の白バイ隊をはじめ、フランス憲兵隊やスペイン、トルコ、中国の警察など様々な国や地域で採用されています。hit-airエアバッグジャケットは現在40カ国以上で販売されています。

